

令和3年度 自立支援・重度化防止施策の目標・評価

タイトル	生活支援体制整備事業
課題	
生活支援コーディネーターを配置し、生活支援体制整備事業を実施しているがまだ認知率が低く、住民と連携を取りながらの事業遂行が出来ていない。事業内容や重度化防止のための意識を住民と共有する必要がある。	
課題解決に向けた取り組み	
・ふれあいサロンを開催する。 ・協議体の開催	
目標	
・自治体等に頼り切りになるのではなく、「住民自身の手で高齢者になっても自分らしい暮らしを続けられる地域を創設する」という意識の構築。 ・住民主体のサービスの創出	
事業実績（令和3年度実施）	
ふれあいサロン 開催数：3回 協議体 開催数：1回（書面）	
実績評価（令和3年度実施）	
自己評価	【○】
住民勉強会から発展したふれあいサロンを地区ごとに行い、計3回開催した。昨年度いくつかの地域課題を挙げていただき、地域にある資源や活動で解決できないか話し合いをするグループワーク形式で実施した。「役場等をあてにするのではなく、我々の手でこの地域を良くしていかなければならない」という目標があったものの、課題に対する解決策を行うところまでは至らなかった。コロナや冬季間の悪天候もあり思うように開催できない状態であった。	